

小金井市 サブスタッフ通信

サブスタッフをより深く知るためのニュースレター Vol.1



今年度も小金井市デイサービス認定サブスタッフ養成講座を開講します！

多様で主体的なサービスが充実している地域をつくるために、
介護予防サービスの担い手としてデイサービスで働くための講座です。

お住まいの地域でいつまでも
役割を感じられることを目指
しています！



地域を元気にするために
あなたも参加してみませ
んか？

【サブスタッフってなに？】

- ・「デイサービスで職員のサポートを受けながら介護サービスを担うスタッフ」のことです。
- ・サブスタッフ養成講座を受講し、デイサービスでの実習を修了することで、晴れてサブスタッフとして認定され、デイサービスで活動することができます。
- ・サブスタッフとしての活動は、養成講座で実習をしたデイサービスです。任期は2年間で、更新認定をされると4年間、活動することができます。



【養成講座では何を学ぶ？】

サブスタッフ養成講座は「講義」「実習」「地域資源調査」の3本柱で構成されています。



講義	<ul style="list-style-type: none">・週1回1時間半、全12回行います。・介護予防に関することや活動するための知識、利用者の支援方法を学びます。・グループワークでさらに学びを深めます。
実習	<ul style="list-style-type: none">・週に1回3時間前後、全10回行います。・利用者に対して、体操の補助や傾聴、見守りなどの支援を行います。・1名の利用者を担当し、支援のプロセスを体験します。利用者の課題を職員と共有し、関わる中での変化を振り返ります。スタッフが温かくサポートするので、安心して参加して下さい！
地域資源調査	<ul style="list-style-type: none">・その他、地域包括支援センターや地域の通いの場を訪問します。地域の課題や解決策、皆さんに求められている活動を考えてみます。

【受講生の声】

- ・介護事業所や地域包括支援センター、さくら体操が身近になり、地域にできるきっかけになりました。
- ・養成講座で学んだことが今後の自分や家族のためになりました。早速知り合いにも勧めました！
- ・知らない知識をたくさん得ることができて、自分の将来について考えるきっかけになりました。
- ・自分の介護予防に取り組みつつサブスタッフも頑張りたいです。

★こんな方に
おすすめします！



- ・地域に知り合いを作りたい
- ・自分や家族のために介護予防の知識や技術を身につけたい
- ・介護予防の活動を通して地域と繋がりたい
- ・ちょっとした仕事をしたい

【 事業所・サブスタッフの声をお届けします！ 】

このコーナーでは、サブスタッフ養成講座に関わる事業所の職員とサブスタッフをご紹介します。

心の面の支援がきめ細やか で職員も見習いたいです

今号は、社会福祉法人聖ヨハネ会の中で、地域の介護・福祉を担っている「桜町高齢者在宅サービスセンター」です。サブスタッフ養成講座を担当している神保さんにインタビューをしました。

Q. どのような介護予防サービスを提供していますか？

神保：介護予防のクラスは、自立支援として現在の機能を維持していただくために、筋トレや脳トレ、歩行練習など提供しています。歩行維持や認知症予防などのプログラムが個々にあり、地域包括支援センターと連携して手厚く支援をしています。

Q. 事業所の特徴を教えてください。

神保：病院と高齢者部門での通所施設、在宅支援、障害者支援施設の3本柱で運営しており、地域に根差した支援をしています。連携を活かして、在宅の方から施設で生活されている方までサポートできる場所が強みだと感じています。

Q. どのような利用者が多いですか？

神保：お一人暮らしの方が6割くらい、そのうち、9割が女性です。身の回りのことは出来つつも、サポートが少し必要な方が多くいます。

Q. 養成講座をはじめたきっかけはなんですか？

神保：小金井市からの依頼です。また、就労に区切りがついた方が、地域で活躍できる場の提供をするといった養成講座の内容が、地域に根差した支援を目指す桜町の方針と合っていたと感じています。



住宅街を抜けたところにあるオレンジの大きな建物。利用者が自身のペースでのびのびと活動している。工夫の盛り込まれたレクリエーションでは笑いが絶えません。職員の温かい支援、声掛けが印象的です。

Q. サブスタッフはどのようなことを担当していますか？

神保：会場設定、職員の補助、送迎時の誘導、声かけなど全般です。レクリエーションやプログラムの企画、傾聴、利用者のお身体の状況も把握してもらっています。

Q. サブスタッフ養成講座の魅力はどんなところにあると感じますか？

神保：桜町での活動を通して、どんな介護保険のサービスがあるかなど実体をみてもらえるところですね。また、利用者の姿を通して住み慣れた地域で年齢を重ねていくことを学べたり、今後を考えるきっかけになったり、それが安心にも繋がってくると感じます。今後、地域で活動するようになった時の視点や、意欲を養ってもらえる学びの場になっているかなと思っています。

Q. サブスタッフが介護予防サービス提供に関わることで良かったことはどんなところですか？

神保：見守り、傾聴の部分で大変助かっています。心の面における支援がきめ細やかで、職員としても見習いたい部分があります。利用者とのやり取りを報告してくださるので、すり合わせができてより良い支援に繋がっていると感じています。

Q. 今後、サブスタッフとどんな活動をしていきたいですか？

神保：外出がなかなかできない方が多くいらっしゃるの、買い物、食事など外に出かける企画を考えています。そんなときはサブスタッフがいると大変助かります。あとは、利用者の現状をみて、情報を共有しながら支援することを大切にしたいですね。

Q. 今年度の受講生に向けて一言お願いします。

神保：まずはご自身のために学んでいただければと思います。その中で、福祉の職員との関わりや介護保険事業を学んでいただき、ご自身が年齢を重ねていくことを考えるきっかけになれば嬉しいです。

★次回は「桜町高齢者在宅サービスセンター」で活動するサブスタッフの声をお届けします！

桜町高齢者在宅サービスセンター

所在地：東京都小金井市桜町1-9-5

1990年開設。幅広い在宅に関わるサービスを展開。小金井で安心して生活するために利用者へ寄り添った支援をしている。個々の機能訓練、脳トレ、レクリエーション、会話の時間など、豊富なプログラム。

編集：東京都健康長寿医療センター研究所 TEL：03-3964-3241内線（4243）

発行：小金井市福祉保健部介護福祉課包括支援係 TEL：042-387-9845